



運転以外のポイント

～渋滞を避け、余裕をもって出発しよう～



計画的なドライブ、できていますか？

出発前、渋滞や交通規制など道路交通情報を確認していますか？
また、地図やカーナビで、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕
をもって出発していますか？



例えば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%※1
程度燃料消費が増加します。

※1 エコドライブ普及連絡会「エコドライブ10のすすめ」より



時間にゆとりをもち、計画的なドライブを心がけましょう。

カーナビが装着されている場合は、これを上手く利用して効率的に走行しましょう。道路交通情報をチェッ
クして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。

「急がず、慌てず」はエコドライブの基本。余裕のある運転でいきましょう。

渋滞発生メカニズム

渋滞を避けて快適ドライブ ※参照元：ソニー損保HP「安心&快適ドライブのすすめ」より抜粋

行楽シーズンや年末年始など、交通量が増加する時期には各所で渋滞が発生します。
渋滞の根本的な原因はこうした交通集中によるものですが、渋滞の発生原因の多くには
「ボトルネック現象」と呼ばれるメカニズムが関係しています。

ボトルネックとは、その名のとおりビンのくびれた形状のことで、さまざまな要因で
その道路の交通容量が低下することによって渋滞が発生する現象を「ボトルネック現象」
といいます。もっともわかりやすい例としては、片側2車線だった道路が途中から1車線と
なるポイントがあげられます。これには合流による車線減少のほか、工事・事故・違法駐車
などによる車線減少も含まれます。また、有料道路の料金所や、一般道路の信号・踏切
などでは「速度低下・停止」による渋滞が発生しますが、こうした場所も「ボトルネック
ポイント」と呼ばれることが多いようです。

さらに、高速道路では直接的な原因が見あたらないのになぜか渋滞してしまうことがあります。
このような渋滞は「心理的なボトルネック現象」と呼ばれ、人間の心理や習性などが原因と
なってボトルネックを引起こすものです。

代表的なものとしてはトンネルやカーブ、坂道を先頭にした渋滞があります。

トンネルやカーブでは、視覚的な変化による恐怖感で必要以上にアクセルを緩めたり、ブレーキ
を踏んでしまいやすくなったりします。その結果、後続のクルマも次々にブレーキを踏んで減速
してしまい、渋滞が発生することになります。

また、「サグ部」と呼ばれる下り坂から上り坂にさしかかるポイントでは、上り坂に気がつかず、
アクセルを踏むタイミングが遅くなってしまったクルマが原因となって、同様の渋滞が発生して
しまいます。